



側される側という立場を超える新しい服を作りたかった」。そう話すのは、服飾デザイナー・倉井美由紀さん（写真右）だ。フットマーカー（03・36634・0507）と共同開発で立ち上げたブランド「エイジング・ファン」は独特のコンセプトを持つ介護ウェアだ。ユニークなのは、どのアイテムも

裏や表、前や後ろが決まっていな
いこと。ストールのボタンは留め
方によってポンチョやボレロ、カ
ーディガンにもなる。クマの顔に
耳がついたようなデザインの「ひ
ざ掛けエプロン」は、ソフトデニ
ムとフリースを重ねて暖かさはも
ちろん、耳の部分をぐるりと後ろ
で交差させて差し込むだけでエプ
ロンに早変わり。どれもマルチな
デザインなのだ。ユニフォームと
いうカテゴリーには納まらない
が、「うちは小さな通所施設だか
らスタッフみんなでお揃いもいい
かも」との声も。

「年齢や性別、そして介護する